

暮らしを快適に おうちの結露対策

結露は空気に含まれる水蒸気が急激に冷えることで起こります。外の空気と室内の温度差が大きいほど発生しやすく、毎年この季節は悩まされている方も多いのではないのでしょうか。実は放っておくと住まいや健康にさまざまな悪影響が起こる可能性もあります。効果的な対策をとって結露を防止しましょう！

結露を放置することで起こる被害

空気中のゴミやホコリが水滴にくっついてカビが発生します。いやなニオイの原因になるだけでなく、カビを好物とするダニまでもが部屋に繁殖し、アレルギーなどの健康被害につながる危険が！また、壁のクロスやフローリングが水分を吸い込んで水シミが起きたり、素材が傷む原因にもなります。最悪の場合、家の内部まで染み込んで断熱材や木材を腐らせてしまうこともあります。

「たかが水滴」と結露をあなどるなかれ！あとあと大変な事になる前にしっかり対策しましょう！



結露が発生しやすい場所

窓まわり以外にこんな場所も要注意です！

クローゼットの中

クローゼットの内部の温度は室温よりも低くなっています。ここに室内の暖かい空気が入り込むことで結露が発生します。

家具の背面

家具の裏側部分は室内の熱が壁まで伝わらず、冷えた空気がたまっています。空気の通りが悪くカビも発生しやすい場所です。

フローリング

暖房で温まった空気が冷たいフローリングに触れることで結露がおきます。カーペットの下は特に発生しやすいポイントです。

簡単&すぐにできる結露対策

ちょっとしたことで結露を防ぐことができますよ！

こまめに換気する

2時間に1回、お部屋の空気を入れ替えましょう。冬場は寒くて億劫になりがちですが、5~10分ほど窓を開けておくだけでOKです。換気をすることで部屋の温度と湿度を下げ、外気との温度差を少なくする効果もあります。



クローゼットの中の空気を入れ替える

クローゼットを開めっぱなしにしておくと、中にたまった水蒸気が逃げ場をなくして結露が発生してしまいます。それが原因で衣服が湿っぽくなったりカビ臭くなることも。時々、1~2時間ほど扉を開けっ放しにして空気を入れ替えましょう。



家具は壁から5cm以上離して置く

タンスや棚などの家具は壁から最低5cmは離して置きましょう。暖かい空気が家具の裏側まで流れる通路を作るのがポイント。結露しやすい外壁側には、なるべく家具を置かないなど配置場所の工夫も検討してみてください。



加湿をしすぎない

最適な湿度の目安は45~50%程度と言われています。結露ができるほどの部屋の場合、湿度は十分あります。北陸の冬は基本的に湿度が高いので、除湿機を上手に活用するなど、加湿のし過ぎを防ぐのもおすすめです。



お住まいでお困りのことならお気軽にご相談ください

〒918-8075 福井市羽坂町 34-29-1

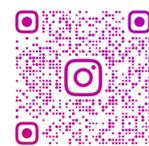
株式会社 小澤工務店

0120-23-1259

ホームページ



Instagram



OZAWA_KOUMUTEN

とよ工房



TOYOKO0838